



新潟の町 小路めぐり

〈新潟市中央区古町通界隈編〉

この「新潟の町 小路めぐり」新潟市中央区古町通界隈編は、新潟市が2008～09年にかけて古町通沿いの小路に設置した「小路案内板」をもとに作られています。江戸時代形成された町並みが、いまでもそのまま残っている新潟の町の歴史と魅力を、小路の散策とともに楽しくみください。

参考文献 「新潟歴史双書」(新潟市発行)
「新潟市街角歴史案内」看板(新潟市)
※掲載の「新潟名所絵がき」、長谷川豊旦「北国一覽写 出羽越後」、甘泉静翁「新かた後の月見」は野内隆裕氏所蔵のものです。
※記載した内容には、歴史的には定説とすることが難しいものも含まれており、いろいろ説があるかと思いますが、また、漏れ等もあるかと思いますが、みなさまがまちづくりを考える際に役立てていただければ幸いです。

小路散策の際には、近隣の方や通行する方のご迷惑にならないよう、節度ある行動をお願いいたします。

〈見方・使い方〉
折りたんでページをめくるようにしてください。
裏も同じように真ん中で折り、返したんでください。

●イラスト・写真:野内隆裕
@にいがたなじゃねっと <http://www.najiranet.com>
●デザイン・本文テキスト:上田浩子
●協力:藤村 誠
●製作協力:roji-ren niigata

2011年11月18日、公益法人日本都市計画学会 創立60周年記念事業「自治体優秀まちづくりグッス賞」を受賞しました!

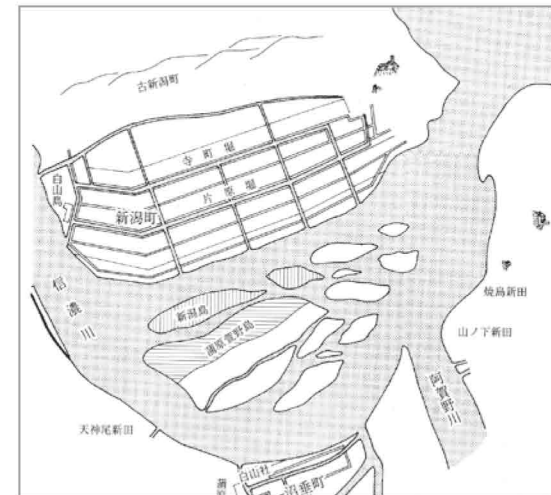
企画制作 新潟市
新潟市中央区学校通1番町602-1 TEL.025-228-1000

※無断転載・複製を禁じます。
2009.3 初版 / 09.5 第2版 / 10.2 第3版 / 11.3 第4版 / 12.1 第5版 / 13.3 第6版発行

歴史と成り立ちを いまに伝える 新潟の町並み。

●新潟町の町並み

江戸時代のはじめ、信濃川左岸の新潟町は今より海岸寄り(現在の寄居町、旭町、大畑周辺)に位置していました(古新潟町)。しかし阿賀野川と信濃川が合流して湊が浅くなり使えなくなったため、川に近い場所へ町を移転、明暦元(1655)年にはその工事がほぼ完了しました。このときできたのが現在の新潟町です。当時は上(かみ)が白山神社境内地、下(しも)が洲崎町(古町通13番町)まで、幅は現在の上大川前通から西堀までの間でした。



元禄12(1699)年4月の沼垂訴訟立会絵図写(部分)
※昭和9年版「新潟市史」上巻所収図から作成されたもの

●「堀」と「通り」と「小路」

町の移転以降、川と海から運ばれてきた荷物を運搬・取引するため、信濃川の流に沿うように南北方向に寺町堀(西堀)・片原堀(東堀)という2本の「堀」と、その間に「通り」が設けられました。そして「堀」と「通り」に直交する東西方向には5本の「横堀」と多くの「小路」が設けられました。

その後堀は埋め立てられ、昭和39(1964)年までにすべて道路に変わってしまいましたが、町並みや小路、堀の位置は当時のまま、昔から愛着を持って呼ばれてきた小路の名前もいまに伝えられています。

魅力的な小路をめぐって

新潟市は2007～09年にかけて、本町通と古町通沿いの小路に名前の由来とイラストを盛り込んだ「小路案内板」を設置しました。このリーフレットは、その案内板のイラストを使って各小路を紹介しながら、白山神社から日和山住吉神社までをめぐっていく構成になっています。そしてそれは、白山神社から信濃川に沿うかたちで堀と通りを設けて形成された、明暦時代以降の町並みをたどる道筋でもあります。

時代の流れの中で大きく姿を変えた小路もあれば、行き交う人を包み込む路地としての表情を残している小路もあります。それぞれの小路の魅力を楽しみながら、いまでも町に残る新潟の歴史を感じてください。



●小路案内板・自立型(左)と貼付型(右)



●街角歴史案内板

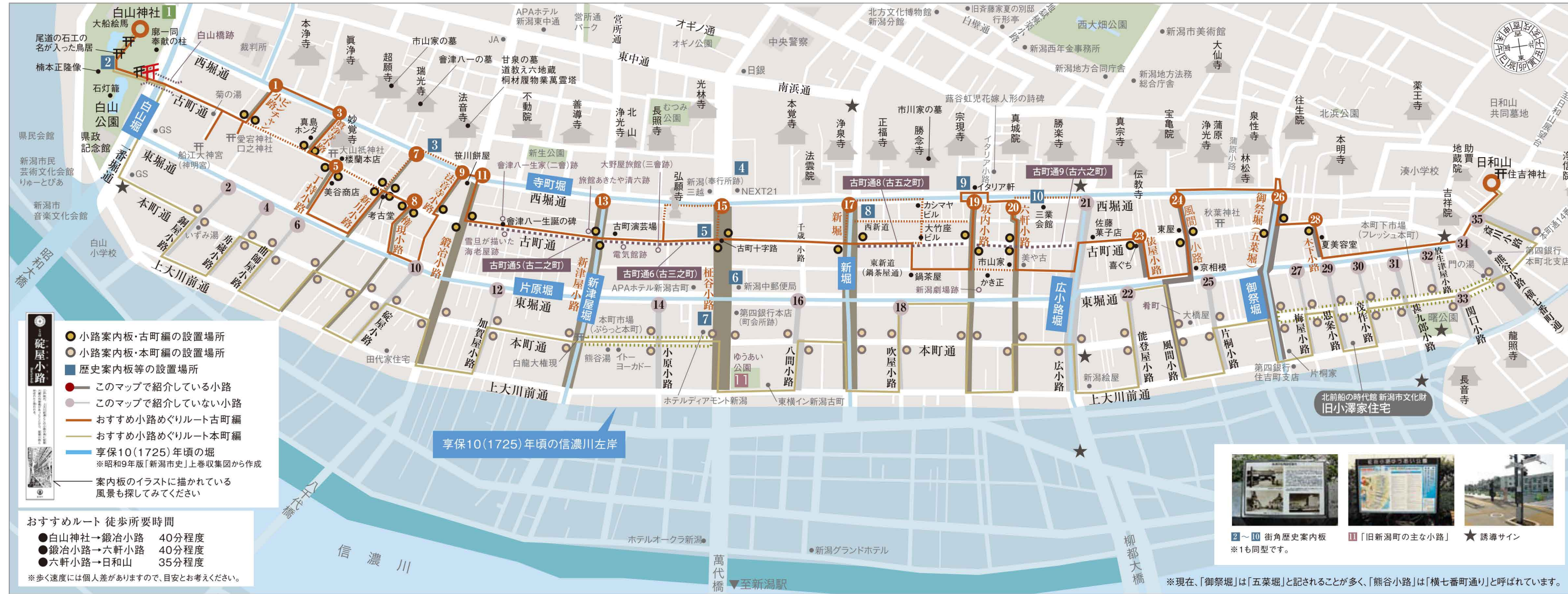
白山神社や古町、本町などに設置されている「街角歴史案内板」は、昔の写真を実際の場所で見比べながら解説を読むことができます。どちらの案内板も、設置場所は下の地図をご覧ください。

計画的な町づくり

昔の新潟町は地域ごとに商売を決めて、計画的に町の中に配置していました(右図)。そうした町の成り立ちの一端は、西堀の「寺町」で見ることができます。ここはかつての町の境だったところにお寺を並べたものです。小路の名前には、「眞浄寺小路」「法音寺小路」のように由来がお寺にあるものや、エリアの職業によるものがあります。古町通2～4番町周辺は舟の荷役に従事する小揚が住んでいた「小揚町」で、付近の小路も「小揚小路」と呼ばれていました。明治以降は運送業(丁持ち)に従事する人が増え、小路も「丁持小路」と名前を変えます。信濃川の川岸だった上大川前通周辺に「材木町」や履物職人の「足駄屋町」があるのは、木材が舟で運ばれていたからでしょう。小路めぐり・本町編で紹介している「曲師屋小路」



には、ヒノキやスギの薄い板を曲げて容器(ふるいやせいろ、弁当箱等)を作る職人が住んでいたそうです。旅館が軒を連ねていた古二之町・三之町(現在の古町通5・6番町)の旅館町には多くの人が訪れ、全国に名を馳せた新潟芸妓や料理の数々、そしてなにより、みなとまち新潟の暖かいもてなしの心に感嘆したといえます。



歴史案内板等の設置場所

- 1 白山神社脇 噴水前
「この地の移り変わり」
- 2 白山公園美由岐賀岡前
新潟市街角歴史案内
「楠本景令と白山公園」
- 3 瑞光寺付近
新潟市街角歴史案内
「400年の歴史を秘めた新潟の寺町」
- 4 NEXT21前
新潟市街角歴史案内
「奉行所から市役所四代、NEXT21への移り変わり」
- 5 国際調理製菓専門学校前
新潟市街角歴史案内
「古町の移り変わり」
- 6 新潟中郵便局前
新潟市街角歴史案内
「新潟町会所から郵便役所、銀行への移り変わり」
- 7 ホテルディアモント新潟前
新潟市街角歴史案内
「本町と笹谷小路の移り変わり」
- 8 小三別館前
新潟市街角歴史案内
「江戸時代の新潟町の庶民の楽しみ」
- 9 宗現寺前
新潟市街角歴史案内
「堀と柳」
- 10 三業会館前
新潟市街角歴史案内
「柳都・新潟」
- 11 笹谷小路ゆあい公園
「旧新潟町の主な小路」
※11は小路名の由来一覧です。

★誘導サイン
※各種施設の方角と距離を示すサインです。



●街角歴史案内板 ●「旧新潟町の主な小路」 ★誘導サイン
※1も同型です。

※現在、「御祭堀」は「五葉堀」と記されることが多く、「熊谷小路」は「横七番町通り」と呼ばれています。

新潟の町 小路めぐり

〈新潟市中央区古町通界隈編〉



新潟の町 小路めぐり

〈新潟市中央区古町通界隈編〉

新潟町の主な小路の 名前の由来と魅力